

お城だけじゃもったいない！ 姫路の魅力を再発見する六つの旅物語

# 旅々、姫路。



思いがけない！  
出会いがきっとある。

その一

心の扉を開いて過ごすひととき

その二

いまここに立ち思いをめぐらせる

その三

出会いと、つながり 新たな感動が生まれる

その四

姫路ゆかりの文化人の足跡をたどる

その五

近代の息吹に思いを馳せる

その六

五感で感じる旅の醍醐味



旅はいつも発見！

全てが新しい出会いです

自然を楽しみ 文化の深みに触れ

そこに刻まれた歴史を感じ取る

それが旅の魅力

まちで出会った人たちも

あなたの大切な思い出に

さあどこから旅をはじめましょうか

姫路の魅力を再発見する

六つの旅物語の始まりです



# 旅々、姫路。目次

## その一 癒しの旅へ

心の扉を開いて過ごすひととき P 3～4

- 名古山霊苑
- 奥播磨かかしの里
- 監館眺望
- 小赤壁
- 廣峯神社と広嶺山の夜景
- 《オス×ピ×ク》
- \* 農事組合法人 安富ゆず組合 安富ゆず工房
- \* 底引き網 地引網体験

## その二 志にふれる旅へ

いまここに立ち思いをめぐらせる P 5～6

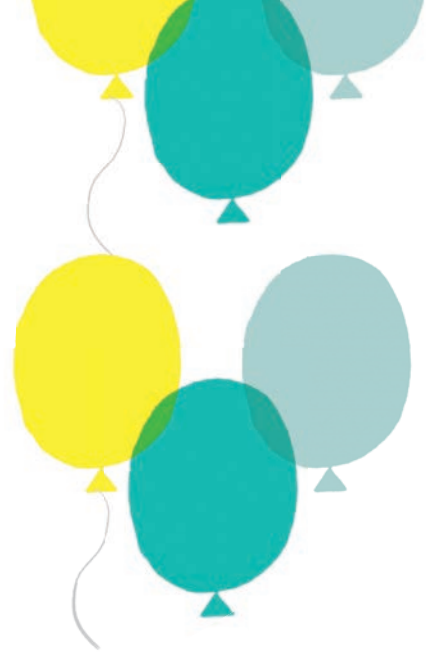
- 亀山本徳寺
- 稲香村舎「誠塾」
- 林田藩校 敬業館
- 勤王の志士 終焉の地碑
- 船場本徳寺
- 《オス×ピ×ク》
- \* 姫路市はやしだ交流センター「ゆたりん」
- \* 西国街道

## その三 交流の旅へ

出会いと、つながり 新たな感動が生まれる P 7～8

- 長壁神社と姫路ゆかたまつり
- 手柄山中央公園
- 八葉寺の鬼追い
- お夏清十郎まつり
- ぼうぜパーロンフェスタ
- 《オス×ピ×ク》
- \* 戦争の悲惨さと平和の尊さを考える
- \* 日本玩具博物館

このパンフレットは、平成16年度から始まった姫路市の地域夢プラン事業を通じて、各地域の皆さんが、自分たちが住んでいる地域の歴史・自然・伝統などをあらためて再確認、再発見し、「まちの宝物(=地域資源)」として掘り起こしたもののの中から、姫路の魅力を再発見する6つのテーマに沿って各スポットを紹介するものです。



### 二次元コード(QRコード)の使い方

各ページの地図の横にある二次元コード(QRコード)は該当する地点のグーグルマップのURLです。お手持ちのスマートフォンやタブレット端末で読み込んでアクセスすると、該当地点のマップが表示されます。

〈例〉名古屋霊苑



### その四 考える旅へ

姫路ゆかりの文化人の足跡をたどる P 9～10

- 司馬遼太郎ゆかりの地
- 廣畑天満宮
- 初井しづ枝が暮らした家
- 菅原道真伝説 思案橋・菅原神社
- 三上参次 生誕の地
- 和辻哲郎の生家
- 《オスメリックUP》
- 姫路文学館
- 姫路市農業振興センター

### その五 郷愁の旅へ

近代の息吹に思いを馳せる P 11～12

- 「銀の馬車道」
- 旧飾磨港線跡
- 元逋信省姫路電信局
- ダイセル異人館
- 山本家住宅
- 旧網干銀行本店
- 《オスメリックUP》
- 魅惑の工場夜景
- エコパークあぼし

### その六 体感の旅へ

五感で感じる旅の醍醐味 P 13～14

- 書寫山圓教寺の坐禅・写経体験
- そうめん滝の遊歩道
- 打越木もれ日の森
- 姫路市夢さき夢のさと
- 兵庫県立いえしま自然体験センター
- 《オスメリックUP》
- \*伝統工芸の絵付け・色付け体験
- \*「夢やかた」



# 旅々、姫路。

〈その一〉癒しの旅へ

## 心の扉を開いて 過ぎすひととき

厳かな空気が漂う仏舎利塔：  
かかしの村人が迎えてくれるのどかな里山：  
美しい瀬戸内海の眺め：  
初めて訪れる場所を歩き、  
普段見ることのない景色を眺める。  
心と身体を思う存分開放して、  
癒される時間を過ごしてみませんか。

## 名古山霊苑

路城の西約1kmの丘陵地にある名古山霊苑は公営の墓地公園です。春の桜やツツジ、夏の新緑、秋の紅葉など、四季の移ろいが楽しめる場所として、市民や観光客から親しまれています。

公園の中央には高さ367メートルの白亜の仏舎利塔があります。周囲には、ドーム型の石仏堂や納骨堂、香炉堂などの堂塔が建ち並び、噴水池や庭園と相まって異国情緒を醸し出しています。東宝塔跡展望広場から眺める姫路城も素晴らしいです。眼前に広がる市街地越しにそびえ立つ姿が立体的に迫ります。その眺めは姫路市の「姫路城十景」に選ばれています。

ドーム型の仏舎利塔に入ると、昭和29年(1954)にインドの故ネール首相から姫路市に贈られた仏舎利(お釈迦様の遺骨)を納めた金色に輝く厨子が目に飛び込んできます。天蓋には二羽の鳳凰と雲中観音、その下には釈迦三尊像と十大弟子の立像が並んでいます。下段には聖徳太子を中心に日本で仏教を広めた各宗派開祖の座像と、日光・月光両菩薩が安置され、豪華絢爛な中にも厳かで神秘的な空気が漂っています。

姫路市名古山町14-1

🕒 8時40分～16時30分

📅 12/29～12/31

👤 仏舎利塔の見学/大人200円、

子ども(5歳以上13歳未満)100円

🚌 神姫バス姫路駅北口17・18番乗り場

→「名古山北口」下車徒歩約5分。または、

同5番乗り場から「今宿循環乗車」→「車崎」下車徒歩約10分

📍 名古山霊苑管理事務所

☎ 079-297-5030

🌐 <http://www.city.himeji.lg.jp/s30/2975030>



オススメ PICKUP!

香り豊かなゆずを  
“ぎゅっ”としぼりました

## 農事組合法人 安富ゆず組合 安富ゆず工房



安富町で採れた新鮮なゆずを使ってさまざまな加工品を製造、販売しています。ゆずは古くから血行促進や冷え性などに効果があり、健康に良い食品として知られています。工房にはゆずを絞った果汁や果皮などを使った約30種類の商品が並びます。中でも、天然のゆずの香りと風味を100%とじ込めた天然果汁「柚子のしずく」はストレスや美白が気になる人にオススメの人気商品です。

姫路市安富町長野320-1

🕒 9時～17時 📅 第2・第4月曜日

🚌 神姫バス姫路駅北口11・12・13・14山崎行き→「長野」

下車徒歩約1分

📍 安富ゆず工房

☎ 0790-66-2801

🌐 <http://yuzu-yasutomi.com>



奥播磨かかしの里の近くには姫路市立グリーンステーション鹿ヶ壺があります。大小のコテージ・キャンプ場・オートキャンプ場・バーベキューサイトなどが揃った自然体験施設で、食堂では名物の「麦とろ定食」などが味わえます。



鹿ヶ壺

[奥播磨かかしの里]  
姫路市安富町関568

🌐 <http://www.furusato-kakashi.net/okuharima.html>

[グリーンステーション鹿ヶ壺]

姫路市安富町関775

🕒 10時～21時 📅 火曜日

🏠 コテージ、キャンプ場、オートキャンプ場、

バーベキューサイトは有料(詳細は問合せ、HPを確認を)

🚌 神姫バス姫路駅北口10「グリーンステーション鹿ヶ壺」行き→「グリーンステーション鹿ヶ壺」下車

☎ 0790-66-3505

🌐 <http://www.1.winknet.ne.jp/~shikagatsubo>



## 奥播磨かかしの里

安富は美しい川の流れと緑濃い山々が織りなす自然美に恵まれています。昔懐かしい山里の景観が残る関地区では、およそ130人の「かかしの村人」が迎えてくれます。農作業をしていたり、バスを待っていたり：はのぼりとしたふるさとかかしの表情に心癒されま。かかしの里の少し先には県指定の名勝「鹿ヶ壺」があります。長い年月をかけて、流れ落ちる滝に浸食されてきた大小十数個の窟穴が連なり、その名は一番上の窟穴が鹿の寝姿に似ていることに由来しています。

# かん かん ちよう ぼう 監館眺望

**家** 島十景の一つで、寛永16年(1639)に江戸幕府が海上警備のために設置した番所(見張り所)からの素晴らしい眺めのことをいいます。宮港から東の山上、現在の清水公園がかつて番所があった場所になります。跡地にはその眺めを題材にした漢詩の碑があります。晴れているときの姫路方面の眺望は素晴らしい、江戸時代の地誌「播磨鑑」には、「この場所から見る入江の風景は周囲を押し、夕日にひとときわ映える光景は煙霧の中に見える対岸の姫路城の天守閣だ」と記されています。

真浦港から歩いてすぐのところ、水天宮として地元の信仰を集める亀の形をした巨岩があり、「どんがめっさん」と呼ばれています。むかし家島に住んでいた大きなウミガメが、水先案内を頼まれ難波の国へ旅立った主人の帰りを待ち続け、いつしか石になってしまったと伝わる石です。この亀の頭を100回なでると願い事が叶うといわれています。



姫路市家島町宮  
 神姫バス姫路駅北口④  
 姫路港行き→「姫路港」下車。姫路港から家島行き定期航路で約30分、「宮港」下車。徒歩約20分  
 家島観光事業組合  
 ☎079-325-8777  
<http://h-ieshima.jp>



## オススメ PICKUP!

潮風と太陽の光を満喫したいならコレ

## 底引き網・地引網体験



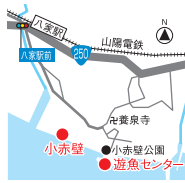
瀬戸内海の漁師気分を味わいたいのなら「底引き網体験」や「地引網体験」がおすすめ。底引き網漁は海底に沈めた網を、船を走らせて引き、魚を獲る漁法。春はアジ、ヒラメ、秋はカニ、カレイなどがとれます。網を引き上げると、ずっしり重い手ごたえにワクワク。数十人で力を合わせていっせいに網を引く地引網体験は、浜に上がった魚を手づかみで捕まえる楽しさも大きな魅力。大人も子どももみんなで楽しめます。

「底引き網体験」  
 実施期間:通年(年末年始除く) 所要時間:約2時間  
 「地引網体験」  
 実施期間:5月~10月末 所要時間:約2時間  
 ※いずれも要予約。料金等詳細は問合せを  
 家島観光事業組合 ☎079-325-8777  
<http://h-ieshima.jp>

# しょう せき へき 小赤壁

**高** さ40m、長さ約800mの断崖(海食崖)が連なる景勝地。江戸時代、姫路藩家老河合寸翁と親交のあった頼山陽がこの地を訪れ、月夜に船を浮かべて風光を楽しんだ際、中国揚子江にある名勝地「赤壁」に似ていることから命名したと伝えられています。小赤壁の東端には棧橋式の釣り台がある姫路市立遊漁センターがあります。海が綺麗で年間を通じて豊富な魚種が釣れると、釣り人に好評です。

食崖が連なる景勝地。江戸時代、姫路藩家老河合寸翁と親交のあった頼山陽がこの地を訪れ、月夜に船を浮かべて風光を楽しんだ際、中国揚子江にある名勝地「赤壁」に似ていることから命名したと伝えられています。小赤壁の東端には棧橋式の釣り台がある姫路市立遊漁センターがあります。海が綺麗で年間を通じて豊富な魚種が釣れると、釣り人に好評です。



[小赤壁]  
 姫路市木場  
 [姫路市立遊漁センター]  
 姫路市の形町福泊地先  
 時 6時~21時(4月~10月)、7時~16時(11月~3月)  
 休 火曜日(祝日の場合翌日)、12/29~1/3  
 料 大人(16歳以上)800円、子ども(5歳以上)500円 ※釣りをしない人は大人200円、子ども100円  
 神姫バス姫路駅南口④的形循環→「福泊」下車徒歩約5分  
 ☎079-254-5358  
<http://www.himeji-yugyocenter.jp>



## 廣峯神社と 広嶺山の夜景

**奈** 良時代末期、吉備真備が唐から帰国した際に神託を受けて社殿を建立したと伝わる由緒ある古社。本殿・拜殿・宝篋印塔が国の重要文化財に指定されています。本殿裏には九星の運命星を守護する神々が鎮座する「九つの穴」があり、願い事を書いた札を自分の運命星の穴に入れ、願いを三度ささやくと成就するといわれています。神社までの道中にある展望台からは姫路市街を一望する雄大な夜景も楽しめます。

軍師・黒田官兵衛の祖父重隆は、廣峯神社の御神符(お札)とともに黒田家秘伝の目薬を売って財をなし、のちの黒田家発展の基礎を築いたと伝わっています。

廣峯神社 姫路市広嶺山52  
 神姫バス姫路駅北口④医療センター経由広嶺行き→「広嶺」下車徒歩約40分。または「競馬場前」下車タクシー約10分  
 ☎079-288-4777  
<http://www.hiromine-j.jp>





現在の本堂が京都・西本願寺にあったころは、幕末に新選組が京都の屯所として使用していました。今も北の柱2本には彼らが刻んだといわれる刀傷が残っています。

姫路市亀山324  
 9時～16時  
 山陽電鉄「亀山」下車徒歩約3分  
 ☎079-235-0242



## 五 亀山本徳寺

〇〇年以上の歴史がある古刹。元は英賀寺内町にあった英賀御堂(英賀本徳寺)でしたが、天正8年(1580)、羽柴秀吉の英賀城攻めの後、この亀山の地に移築され「亀山御坊本徳寺」とよばれるようになりました。明治初めの本堂焼失後、京都・西本願寺の北集会所が移築され、今も本堂としてその姿が残っています。その本堂は、県下最大の規模を誇り、釣り鐘(市指定文化財)や飾瓦法宝物など、多数の文化財があります。

あぼしまち交流館の北に廻船業や醤油醸造を手がけた豪商の屋敷「加藤家住宅」があります。その長屋門の脇にある初代網干町長加藤邦太郎の顕彰碑の「撻秀碑」という題字は勝海舟の筆によるものです。東馬が依頼し、10日足らずで網干に届けられたと伝えられています。



姫路市網干区新在家1396  
 第1・3日曜日 10時～16時  
 山陽電鉄「山陽網干」下車徒歩約4分。または「あぼしまち交流館」(駐車可能)→徒歩約7分  
 ☎079-273-1501(網干地方史談会・増田政利さん)



とうこうそんしゃ  
**儒 稲香村舎「誠塾」**  
 学者・河野鉄兜の弟で医者であった河野東馬が慶応4年(1868)に設立した私塾。尋常小学校を卒業した若者に倫理・読書・作文習字の4科目を教え、優秀な人物を輩出しました。東馬は明治政府からの召命を「故郷で子弟の教育にあたりたい」と固辞したとも伝えられています。建物内の座敷には実際に使われていた文机が並び、当時の教科書などを手にとって閲覧することができます。

# 旅々、姫路。

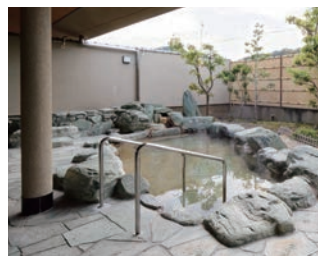
〈その二〉 志にふれる旅へ

いまここに立ち  
 思いをめぐらせる  
 先人たちの志や、  
 夢半ばでついでた無念。  
 そんな思いにふれることができる場所が  
 姫路には数多く存在します。  
 今、その地に立ち、時を超えて、  
 彼らの声に耳を澄ませてみませんか。

オススメ  
**PICKUP!**

開放感たっぷりの  
 露天風呂を満喫!

姫路市はやしだ交流センター  
 「ゆたりん」



市民の交流と健康増進、地域農業の振興を目指して建てられた「ゆたりん」には、入浴施設、レストラン、農産物直売所があります。深さ1338m、約2億1千万年前の堆積岩層から湧き出す温泉を露天風呂付きの大浴場や無料の足湯で楽しめます。直売所で販売するとれた新鮮野菜や花も人気です。

姫路市林田町口佐見386  
 (入浴時間)平日10時～21時30分  
 土、日、祝日10時～22時  
 (農産物直売所)9時30分～16時30分  
 第2月曜日(祝日の場合は翌日)  
 大人600円、子ども(小学生)300円  
 ※足湯は無料  
 神姫バス姫路駅北口⑤⑥山崎行き→「林田橋」下車東へ徒歩約10分  
 ☎079-261-3770  
 http://yutarin.net



オススメ  
PICKUP!

古き良き時代に  
思いをはせる道

## 西国街道



船場本徳寺の北側、国道2号と並行して東西に延びる街道は、かつて近畿と北九州を結ぶ律令国家最大の幹線道「山陽道」でした。江戸時代になると西国街道とよばれ、大名や行商人が盛んに行き来する重要な街道として栄えました。龍野町界隈は昭和20年の姫路空襲の際も大きな被害を受けず、今も町家の一部が旧街道沿いに残っています。

姫路市龍野町  
1丁目～5丁目付近



望郷塚



西南の役供養碑



姫路市地内町1-1

時 8時～16時  
 姫路駅北口  
 →徒歩約20分  
 ☎079-292-0580



敬業館の南方ほど近くに林田藩の大庄屋を務めた旧三木家住宅があります。江戸時代初期に建てられたものと推定され、広大な敷地には主屋、長屋門、長屋、土蔵(米蔵、内蔵、新蔵)が残り、大庄屋の面影が感じられます。

姫路市林田町林田13  
 日曜、祝日 10時～16時 ※入館無料  
 上記以外の曜日、12/28～1/4  
 神姫バス姫路駅北口→山崎行き→「林田」下車  
 徒歩約10分  
 林田大庄屋旧三木家住宅管理事務所  
 ☎079-261-2338  
 ※三木家公開日(金・土・日・祝・月)のみ対応  
<http://npo-shinpoohayashida.net>



**学** 問を好み、儒学を尊ぶ林田藩主、建部政賢が寛政6年(1794)に創設。敬業の名は中国の『礼記』からとったといわれています。兵庫県内で唯一現存する藩校で、講堂のほか聖廟、練武場、文庫などの建物がありました。現在は講堂だけが残ります。講堂の瓦には建部家の家紋「三ツ蝶」が施され、当時の威容が偲ばれます。幕末の詩人・儒学者として著名な河野鉄兜が教授を務めていたこともあります。

## 林田藩校 敬業館



## 船場本徳寺

**御** 坊さん」の名で親しまれている船場本徳寺。正式名は「真宗大谷派姫路船場別院本徳寺」といいます。元和4年(1618)、姫路城主・本多忠政の時代に東本願寺船場別院本徳寺としてこの地に創設されました。広大な境内には、享保3年(1718)に落慶された十七間四面の本堂や、明治天皇が宿泊された行在所、西南戦争や勤王志士の碑、第二次世界大戦時のドイツ兵捕虜が母国を偲んで造ったといわれる「望郷塚」などが、ひっそりとたたずんでいます。



姫路市塩町236  
 姫路駅北口→徒歩約10分



## 勤王の志士 終焉の地碑

**幕** 末の姫路藩は動乱の渦に巻き込まれて、佐幕派と勤王派が激しく対立していました。元治元年(1864)、姫路藩主・酒井忠績は勤王派の弾圧を開始。この時、河合宗元(物兵衛)をはじめとする多くの勤王派藩士が投獄され、2名が斬首、6名が切腹を言い渡されました。この年の干支から「甲子の獄」といわれています。かつての姫路藩の処刑場の跡に彼らの終焉の碑が建てられ、今も繁華街・魚町にある大蔵前公園の中に静かにたたずんでいます。



# 旅々、姫路。

〈その三〉 交流の旅へ

## 出会いと、つながり 新たな感動が生まれる

殿様の粋なはからいから始まった庶民のまつりや、悲しい恋の物語、古来から続く鬼追いの伝統…地域にはその場所で生まれ受け継がれてきた歴史や風物、地元ならではの歳事記があります。ひとときその中に溶け込んで、肌で感じてみませんか。



### 長壁神社と

### 姫路ゆかたまつり

**長**壁神社の御祭神は刑部親王とその娘富姫で、古くから今の姫路城が立つ姫山の地主神としてまつられていました。姫山に姫路城が築かれた後は守護神として城内に鎮座され、庶民が参拝できなくなったため、立町の長源寺にその分霊をまつりました。現在の長壁神社は、大正の末に長源寺から分離したものです。姫路ゆかたまつりはその長壁神社の夏祭り。風流大名と呼ばれた江戸時代の姫路城主・神原政岑が分霊の遷座祭に際し、庶民は浴衣姿で気軽に参加してよとしたことが「ゆかたまつり」の起源だといわれています。

姫路ゆかたまつりは毎年6月22日～24日に開催されます。西二階町商店街や大手前通りには露店がズラリと並び、初日には恒例の「子どもゆかたパレード」が姫路城三の丸広場から城南公園までを練り歩きます。近くの城南公園では、地元主催の「地域ふれあいステージ」が練り広げられ、初夏の風物詩として市民に親しまれています。

長壁神社 姫路市立町33  
 姫路駅北口→徒歩約7分  
 ゆかたまつり振興協議会事務局  
 (姫路市観光振興課) ☎079-287-3652



毎年春には「スプリングフェスティバル」が、秋には「オータムフェスティバル」が開催されます。公園内の各施設を巡るスタンプラリー、施設ごとのイベントや展示、飲食物販売やステージでのミニコンサートなど多彩な催しが行われ、家族連れなど多くの人でにぎわいます。



姫路市西延末440  
 9時～17時(手柄山交流ステーション)  
 火曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/1  
 神姫バス姫路駅南口⑦手柄山ループバス(土日祝日のみ運行)→「姫路市文化センター前」下車徒歩約10分。または山陽電鉄「手柄」下車徒歩約10分  
 手柄山交流ステーション ☎079-299-2500  
<http://www.city.himeji.lg.jp/koryustation>



オススメ PICKUP!

戦時下の姫路の様子がわかります

### 戦争の悲惨さと 平和の尊さを考える



手柄山の「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」は剣を地中に突き立てた形で「もう戦争はしない」という誓いが込められています。昭和31年(1956)、太平洋戦争における空爆などの犠牲となった全国の一般市民の慰霊と、世界の恒久平和を祈念するため建立されました。姫路市平和資料館では空襲や戦時下の生活を、パネルや展示品、疑似体験装置などで再現し、戦争の恐ろしさと平和の尊さを伝えています。

姫路市西延末475  
 9時30分～17時  
 休 日曜日(祝日の場合翌日)、祝日の翌日、12/28～1/5  
 料 一般200円、小・中学生50円  
 神姫バス姫路駅南口⑦「手柄山ループバス」(土日祝日のみ運行)→「姫路市文化センター前」下車徒歩約10分。山陽電鉄「手柄」下車徒歩約10分  
 姫路市平和資料館 ☎079-291-2525  
<http://www.city.himeji.lg.jp/heiwasiroyo>



### 手柄山 中央公園

**手**柄山中央公園は、小高い丘に広がる総面積36ヘクタールの総合公園です。公園内には慰霊塔を中心に文化施設やスポーツ施設などが点在していて、手柄山温室植物園やサンクガーデンでは、緑や四季折々の花々を楽しむことができます。また、西洋の古城を模した建物やロックガーデンなど、独特の雰囲気をもつ場所が多いことから、近年はコスプレヤーたちが集まる撮影スポットとしても人気です。







福田是定の玉垣



司馬遼太郎の文学碑

姫路市広畑区北野町2-3  
 JR「英賀保」下車西へ徒歩約10分。または山陽電鉄「夢前川」下車夢前川沿いを北へ徒歩約10分  
 ☎079-236-0853



## 司馬遼太郎ゆかりの地 廣畑天満宮

**司** 馬遼太郎(大正12年(1923)〜平成8年(1996))の本名は福田定。福田家は祖父の代まで姫路市広畑に住んでいました。天満大神(菅原道真)、蛭子大神、春日大神を祭神とする廣畑天満宮には祖父惣八と父・是定の玉垣が残っているほか、境内には司馬遼太郎の文学碑が建てられています。碑には「祖父惣八は播磨人である。姫路市浜寄りの郊外の広という村の出身で...」という司馬遼太郎の『歴史と小説』の一文が刻まれています。



# 旅々、姫路。

〈その四〉 考える旅へ

## 姫路ゆかりの文化人の足跡をたどる

「播磨国風土記」の時代から交通の要衝として栄え、独自の風土が育まれてきた姫路。近代以降は優れた学者や文学者を多く輩出しています。近代日本の精神を支えた学者たち、日本人の心を描き出した文学者たちの故郷を訪ね、足跡をたどってみてはいかがでしょうか。



## 姫 暮らした家 初井しづ枝が

路を代表する歌人・初井しづ枝(明治33年(1900)〜昭和51年(1976))は夫の勧めで作歌を始め、24歳のときに北原白秋に師事。白秋の美意識と抒情性を受け継ぐ直系の弟子として歌壇の注目を集め、凜とした歌風と容貌から「姫路の孔雀」といわれたことも。生涯、姫路を離れることなく旺盛な作歌活動を続け、短歌の普及と発展に尽くしました。歌稿ノートや書簡などは姫路文学館に収蔵されています。

江戸時代中期には「英賀屋」の屋号で両替商を営んでいたとされ、最も古い母屋は弘化元年(1844)の建築。旧西国街道の風情を今に伝える立派な佇まいで、市の都市景観重要建築物等に指定されています。

姫路市龍野町1丁目26  
 ※内部は非公開  
 右記「姫路文学館」へ行くバス(ループバス)は除く乗車→「市之橋文学館前」下車南へ徒歩約5分



オススメ PICKUP!

平成28年夏にリニューアル!

## 姫路文学館



播磨ゆかりの学者・文学者を顕彰する姫路文学館は、安藤忠雄の設計によることでも知られています。北館では姫路城や播磨国風土記の歴史を紹介するほか、ユニークな仕掛けのある「ことばの森展示室」も。壁やテーブルにちりばめられた言葉にタッチすると、作家らが残した印象的な「ことば」が現れます。南館には司馬遼太郎記念室やカフェもあり、思い思いの時間が過ごせます。

姫路市山野井町84  
 10時〜17時(入館は30分前まで)  
 月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日曜日は除く)、12/25〜1/4  
 大人300円、高校・大学生200円、小学・中学生100円  
 ※特別展は別料金。南館は無料  
 神姫バス姫路駅北口9・10・17・18番乗り場出発のバス(いずれも可)に乗り→「市之橋文学館前」下車北へ徒歩約4分。または同6番乗り場から城周辺観光ループバス乗車→「清水橋(文学館前)」下車西へ徒歩約3分  
 ☎079-293-8228  
<http://www.himejibungakukan.jp>



オススメ  
PICKUP!

日曜朝市が  
人気!

## 姫路市 農業振興センター



地域緑化と農業振興の拠点として、草花の配布や野菜などの種苗の提供のほか、日曜朝市の開催、収穫体験などの農業体験事業などを行っています。とれたて野菜や海産物、花苗や飲食ブースが立ち並ぶ「農林漁業まつり」は毎年11月に開催。多くの人で賑わいます。

姫路市山田町多田1174-47  
 開(見学時間)9時~16時30分  
 (日曜朝市)原則毎月第1日曜日(1月は休み)8時30分~10時頃  
 休 土曜日、日曜日、祝祭日(ただし、日曜朝市や農林漁業まつり開催日など除く)、12/29~1/3  
 ③ 神姫バス姫路駅北口④北条行き→「西山田」下車北へ徒歩約20分  
 ⑥大貫経由北条行き→「多田」下車西へ徒歩約15分  
 開 ☎079-263-2220



現在の思案橋



思案橋公園の菅公小憩伝説

思案橋公園 姫路市飾磨区思案橋49  
 ③ 神姫バス姫路駅北口⑦思案橋循環→「思案橋東口」下車徒歩約2分  
 加茂神社 姫路市飾磨区加茂30  
 ③ 同バス「加茂」下車徒歩約3分  
 菅原神社 姫路市広畑区小坂236  
 ③ JR「はりま勝原」下車徒歩約15分



菅原神社



思案橋公園



加茂神社



加茂神社



菅原神社

確実な史料を数多く集め、後世に遺そうと考えた三上。東大教授を退官した後は文部大臣就任の話を断り「明治天皇御紀」の編修に専念しました。姫路城の国宝指定に尽力した人物としても知られています。

姫路市船津町1553  
 ③ JR播但線「溝口」下車東へ徒歩約20分



漢方医の家に生まれ、5歳で旧姫路藩士・三上家の養子に。東京帝国大学卒業後は史料編纂事業に従事。史料の客観性、信憑性、重要性を重視する「実証的方法論」を導入し、近代日本の歴史研究の基礎を築きました。

## 三上参次 誕生の地

徳寺の近くにある幸田家の敷地内に「三上参次先生誕生の地」と刻まれた碑が立っています。三上参次(慶応元年(1865)~昭和14年(1939))はこの地の



ふるさとに寄せる深い思いを情感あふれる文章で綴った和辻。晩年は書斎に市川の河原石を置き、その小石を眺め、ときどき手のひらで転がしながら「自叙伝の試み」を書いたといわれています。

姫路市仁豊野309  
 ※内部は非公開  
 ③ JR播但線「仁豊野」下車東へ徒歩約1分



本近代文学に大きな影響を与えた和辻哲郎(明治22年(1889)~昭和35年(1960))は東京帝国大学哲学科時代に谷崎潤一郎と交流があり、小説家を目指しましたが、やがて学問の道へ。日本人の立場から人間と文化への考察をすすめる、独創的な文化哲学、倫理学を完成しました。『古寺巡礼』『風土』など多くの著書があります。生家に立つ碑には「春の来た日に 和辻哲郎ここに生まれる」と刻まれています。

## 和辻哲郎の生家



飾磨津物揚場跡

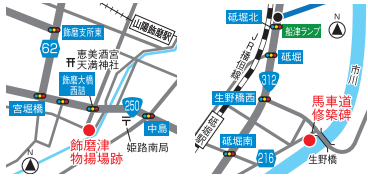


馬車道修築碑

飾磨津物揚場跡  
姫路市飾磨区宮173-1  
山陽電鉄「飾磨」下車  
徒歩約10分



馬車道修築碑  
姫路市砥堀生野橋西詰  
JR播但線「砥堀」下車  
徒歩約10分



# 旅々、姫路。

〈その五〉 郷愁の旅へ

## 近代の息吹に 思いを馳せる

明治以降、産業都市として成長した姫路は、西洋の影響を受けた近代建造物が各地にみられます。レンガを用いた重厚な建物、自由な発想と遊び心あふれる住宅、道路や鉄道の遺構。市の都市景観重要建築物等に指定されているものも多く、当時の人々のものづくりに対する想いや、新しい時代への夢を感じることが出来ます。

## 「銀の馬車道」

**生** 野鉾山寮馬車道(通称「銀の馬車道」)は明治9年(1876)に完成した約49キロの物資輸送専用道路で、西洋の土木技術を導入した日本初の高速産業道路ともいわれています。生野銀山からは銀を、飾磨津(現姫路港)からは銀の増産に必要な機械や物資を運びました。修築の経緯などを記した「馬車道修築碑」が市川沿いの公園に立つほか、かつて「飾磨津物揚場」があった場所には赤レンガ造りの倉庫や堀が残っています。

生野では鉾石を精錬するときに見える鉾滓を固めた「カラム石」が堀などに利用されていますが、飾磨港に注ぐ川の護岸などにも同様の石が使われていて、生野と飾磨が結ばれていた名残が感じられます。

## 旧飾磨港線跡

**飾** 磨港線は通称で、もとは播但鉄道(現在のJR播但線の一部。姫路から飾磨港までの5.6キロを結び、明治28年(1895)に開業しました。旅客や新日本製鐵(現新日鐵住金 広畑製鐵所への資材を運びました。昭和61年(1986)に廃線。跡地は緑あふれる遊歩道として整備され、「かめやま」と書かれた駅名標のモニュメントが残ります。



姫路市手柄2丁目  
山陽電鉄「亀山」下車  
徒歩約5分



オススメ  
PICKUP!

近未来的な  
あかりの風景

## 魅惑の工場夜景



姫路市の臨海部には鉄鋼・化学工場の大規模なプラントが集まっています。工場夜景スポットも数多くありますが、代表的な場所が網干なぎさ公園です。園内の小高い丘からは(株)ダイセルや(株)日本触媒などの工場群を望むことができ、夜空にきらめくプラントの灯り、海に映る幻想的な光の影が、目の前に美しく広がります。

網干なぎさ公園  
姫路市網干区新在家246-2  
山陽電鉄「山陽網干」下車  
徒歩約30分



姫路市総社本町115  
姫路駅北口  
徒歩約10分



建物内部が改装され、結婚式場レストランとして使用されています。

## 元逓信省 姫路電信局

**茶** 褐色のタイルが全面に貼られた建物は、昭和5年(1930)に当時の逓信省が姫路電信局として建築したものです。平成14年(2002)に市の都市景観重要建築物等に指定されました。現在は、

オススメ  
PICKUP!

楽しく学ぼう  
ごみと環境

## エコパークあぼし



平成22年(2010)にオープン。バイオマス発電を導入したごみ焼却施設、ごみのリサイクルを図る再資源化施設など、ごみや環境問題について学び、体験できる環境学習センターを見学できます。そのほか、健康増進センター(リフレ・チョーサ)には、温水プールや温浴施設、グラウンド・ゴルフ場や遊歩道などが整備されています。

姫路市網干区網干浜4-1

時 9時～17時(環境学習センター)、9時～21時(健康増進センター)

休 水曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/3(環境学習センター)、12/28～1/3(健康増進センター)

☑山陽網干駅前～エコパークあぼし間は無料シャトルバスあり

☑姫路市立網干環境学習センター

☎079-272-9166

姫路市立網干健康増進センター

☎079-272-5601

<http://ecopark.or.jp>



(株)ダイセルの前身の日本セルロイド人造絹糸(株)が外国人技師の宿舎として明治43年(1910)に建設されました。様式は19世紀末のイギリスのコーテージに似たデザインが見られますが、外装はアメリカのコロニアルスタイルと共通点が多いといえます。現在は緑壁の洋館が「セルロイド資料館(公開中)」、赤屋根の洋館が「迎賓館(非公開)」になっています。平成元年(1989)、市の都市景観重要建築物等に指定されました。

## ダイセル異人館



セルロイド資料館



迎賓館

セルロイド資料館

姫路市網干区新在家1239

時 9時～17時 ※入館無料

休 土・日曜日、祝日、12/28～1/5、お盆(8/12～8/16)

☑山陽電鉄「山陽網干」下車→徒歩約15分

☑株ダイセル

☎079-273-7001

<http://www.daicel.com/inheritance/>



姫路市網干区

新在家640-3

☑山陽電鉄「山陽網干」

下車徒歩約10分



治27年(1894)に設立された網干銀行の本店として、大正10年頃に建てられました。煉瓦建て銅板葺きのドーム屋根をもつ洋風建築物です。昭和40年(1965)の神戸銀行時代に銀行業務を終えたのは服飾店となりましたが、平成27年(2015)に閉店。平成12年(2000)、市の都市景観重要建築物等に指定されました。

## 旧網干銀行本店



姫路市網干区興浜70

時 第1・3日曜日 10時～16時

※資料代として300円要

※要予約。臨時に開館または閉館する場合がありますので問合せを

☑山陽電鉄「山陽網干」

下車徒歩約15分

☑あぼしまち交流館

☎079-255-8001



山本家住宅  
明 治初期の建築である主屋と、大正7年(1918)に完成した洋館、離れ和館などで構成される山本家住宅。洋館は第11代網干町長や網干銀行頭取を務めた山本真蔵氏が建てた和洋折衷の建物で、土堀越しに見える黒壁塗りの3階建ての望楼がひととき目を引きまします。大理石の暖炉やシャンデリア、象嵌細工を施した調度品など贅を尽くした応接室、ステンドグラスの光が美しい書斎や廊下などにも和洋折衷のユニークな意匠が施され、建物全体が一つの芸術作品のようです。平成元年(1989)に市の都市景観重要建築物等に指定されました。



# 旅々、姫路。

〈その六〉 体感の旅へ

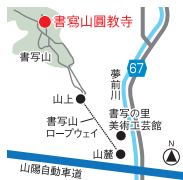
## 五感で感じる 旅の醍醐味

その土地でしか体験できないことを  
やってみるのも旅の醍醐味の一つです。  
歴史と自然に恵まれた姫路には  
数多くの体験スポットがあります。  
五感を総動員して、  
いつもとは違う自分を発見してみませんか。



書寫山圓教寺は康保3年(966)に性空上人が開創。天台宗三大道場の一つに数えられ、西国三十三カ所巡礼の第二十七番札所です。閑静な山内に数多くの堂塔が立ち並ぶ様は「西の比叡山」ともよばれ、数々の映画やドラマのロケ地にもなっています。

書寫山圓教寺  
姫路市書写2968  
 8時30分～17時(ロープウェイ運行時間。季節により延長あり)  
 (入山時)拝観志納金500円  
 (坐禅)500円※要予約  
 (写経)1000円(般若心経)、  
 300円(花びら写経)  
 神姫バス姫路駅北口⑧書写山ロープウェイ行き→「書写山ロープウェイ」下車、書写山ロープウェイで「山上駅」へ  
 ☎079-266-3327(本坊寺務所)  
<http://www.shosha.or.jp>



上流には「そうめん滝キャンプ場」があります。夏休みには自然学習で利用する子どもたちでにぎわい、最近では姫路城観光の外国人が利用することもあるとか。



姫路市立そうめん滝キャンプ場 姫路市砥堀1365-1  
 9時～17時(予約など受け付け時間)  
 12/28～1/4  
 (キャンプ場利用料)大人220円、  
 小学生・中学生170円(平日)  
 大人260円、小学生・中学生200円  
 (土曜、日曜、祝日)  
 JR播但線「砥堀」下車  
 徒歩約25分  
 ☎079-264-4373  
 姫路市公式HP内  
 「青少年キャンプ場」で検索



## 書寫山圓教寺の 坐禅・写経体験

姿勢を正し、無心の時間を過ごす「坐禅」。揺れ動く心をひととき留め、本来の自分と向き合います。供養や所願成就を祈りながら般若心経を一字ずつ書き写す「写経」は、御本尊の如意輪観音像に奉納。散華の形の色紙に書く手軽な「花びら写経」もあります。多くの僧侶が修行した空間で、無心になれる貴重なひとときを過ごせます。

## 伝統工芸の絵付け・色付け体験



姫路市書写の里・美術工芸館では、姫路市出身の元東大寺別当・清水公照師の作品や姫路の美術工芸品、郷土玩具、伝統工芸品を収集・展示しています。工芸工房では県伝統的工芸品の「姫路はりこ」「姫路こま」の絵付け・色付け体験ができます。「姫路はりこ」は週末と祝日に五代目姫路はりこ職人の松尾哲さんが製作実演を行うほか、絵付けの指導にもあたります。日曜、祝日には「姫路こま」「姫路人形」の製作風景を見学できます。

姫路市書写1223  
 10時～17時  
 (入館は30分前まで)  
 月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日曜日は除く)、12/25～1/5  
 (入館料)大人300円、高校・大学生200円、小学・中学生50円、  
 (はりこ絵付け)お面800円、(こま色付け)300円  
 神姫バス姫路駅北口⑧書写山ロープウェイ行き→「書写山ロープウェイ」下車徒歩約3分  
 ☎079-267-0301  
<http://www.city.himeji.lg.jp/kougai>



## そうめん滝の遊歩道

嶺山の北、市川へ注ぐ砥堀川沿いを上流に進むと、ナラやブナなどの落葉樹が群生する渓谷が現れます。溪流には奇岩が連なり、水量が少ないので細く流れる滝があることから「そうめん滝」とよばれています。「昔、姫路城の殿様が上流から素麺を流して下流でそれを食べたことからこの名がついた」という説も。遊歩道は近畿自然歩道の一部になっていて、鳥のさえずりや小川のせせらぎを聞きながら森林浴を楽しめる散歩道として地元の人にも親しまれています。



# 打越木もれ日の森

## 書

写山の西には伊勢山や峰相山など比較的標高の低い山々が連なり、ハイキングやトレッキングが楽しめる散策路が整備されています。中でも、姫路市緑台の住宅地の奥にある「打越木もれ日の森」は地元住民による里山整備が行われ、気軽にハイキングを楽しめるコースが整っています。出発点となるヤマザクラ広場から展望台までは約30分で到着。心地良い風とともに遠くは播磨灘や淡路島まで見渡せる眺望が爽快な気分になさせてくれます。



⑧ 神姫バス姫路駅北口  
⑨・⑩・⑪ 緑台行き→「緑台」下車北へ徒歩約3分でヤマザクラ広場



# 姫路市 夢さき夢のさと 「夢やかた」

## 農

業の振興と地域の活性化を目的に造られた農業公園が「夢やかた」です。特産「夢そば粉」のそば打ち体験や、季節の野菜を収穫する農業体験ができます。宿泊、休憩ができるコテージでは、静かな環境の中で時間を忘れてくつろげます。また、バーベキュー広場もあり、アウトドアを手軽に楽しめます。



# 兵庫県立

## いえしま

# 自然体験センター

## 瀬

戸内海に浮かぶ家島諸島最大の島、西島の静かな湾内にある自然体験施設です。目の前に広がる白い砂浜で海水浴はもちろん、カヌー、シーカヤックなどの海洋スポーツ、磯の生物や島の植物の観察会など、さまざまな体験プログラムが用意されています。旬の魚介類を学びながら味わえる「いえしま味覚まるごと満喫」やキッズキャンプなどのイベントは年間を通じて行っています。



姫路市家島町西島

⑫ 無休

⑬ 体験プログラムは内容により異なるので問合せを。

⑭ 宿泊施設(ロッジ、有料)あり

⑮ ※施設利用、体験プログラム参加などには事前予約が必要です

⑯ 神姫バス姫路駅北口⑮姫路港行き→「姫路港」下車、姫路港から「坊勢汽船」または「輝観光」の定期船を利用(乗船には施設への事前予約が必要)

⑰ ☎079-327-1508

http://www.shizen-ieshima.com



姫路市夢前町神種1281-2

⑱ 9時~17時

⑲ 月曜日(祝日の場合は翌日)、12/28~1/3

⑳ 入園無料 ※そば打ち体験は一人1050円(要予約)

㉑ ※農業体験(要予約)は内容によって費用が異なるので問合せを

㉒ 神姫バス姫路駅北口⑲・⑳・㉑前之庄(山之内)行き→「前之庄」下車徒歩約35分

㉓ ☎079-336-1585

http://www.yumesan.jp



《その一》心の扉を開いて過ごすひととき

- 1 名古屋霊苑
- 2 奥播磨かかしの里
- 3 監館眺望
- 4 小赤壁
- 5 廣峯神社と広嶺山の夜景

【オススメ PICK UP】

- 6 農事組合法人安富ゆず組合 安富ゆず工房
- 7 底引き網・地引網体験

《その二》いまここに立ち思いをめぐらせる

- 8 亀山本徳寺
- 9 稻香村舎「誠塾」
- 10 林田藩校 敬業館
- 11 勤王の志士終焉の地碑
- 12 船場本徳寺

【オススメ PICK UP】

- 13 姫路市はやしだ交流センター「ゆたりん」
- 14 西国街道

《その三》出会いと、つながり新たな感動が生まれる

- 15 長壁神社と姫路ゆかたまつり
- 16 手柄山中央公園
- 17 八葉寺の鬼追い
- 18 お夏清十郎まつり
- 19 ぼうぜパーロンフェスタ

【オススメ PICK UP】

- 20 戦争の悲惨さと平和の尊さを考える  
(太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔・姫路市平和資料館)
- 21 日本玩具博物館

《その四》姫路ゆかりの文化人の足跡をたどる

- 22 司馬遼太郎ゆかりの地 廣畑天満宮
- 23 初井しづ枝が暮らした家
- 菅原道真伝説 24 思案橋 25 加茂神社 26 菅原神社
- 27 三上参次生誕の地
- 28 和辻哲郎の生家

【オススメ PICK UP】

- 29 姫路文学館
- 30 姫路市農業振興センター

《その五》近代の息吹に思いを馳せる

- 「銀の馬車道」 31 馬車道修築碑 32 飾磨津物揚場跡
- 33 旧飾磨港線跡
- 34 元通信省姫路電信局
- 35 ダイセル異人館
- 36 山本家住宅
- 37 旧網干銀行本店

【オススメ PICK UP】

- 38 魅惑の工場夜景(網干なぎさ公園)
- 39 エコパークあぼし

《その六》五感で感じる旅の醍醐味

- 40 書寫山圓教寺の坐禅・写経体験
- 41 そうめん滝の遊歩道
- 42 打越木もれ日の森
- 43 姫路市夢さき夢のさと「夢やかた」
- 44 兵庫県立いえしま自然体験センター

【オススメ PICK UP】

- 45 伝統工芸の絵付け・色付け体験  
(姫路市書写の里・美術工芸館)

